

ナウマン通信



2020年
8月7日発行
第13号

大阪市立我孫子南中学校

1学期 終業式

～校長講話より～

本日の終業式でお話しした内容を紹介させていただきます。



振り返れば3月からの学校休業期間、そして6月からの学校再開から今日までみなさんは本当によく頑張ってきました。ひとまず今日の日をみんなで迎えることができたことをうれしく思います。



また、昨日の8.6平和・人権学習ではすべての学年が素晴らしい発表をしてくれ、感動をしました。お疲れさまでした。1年生は初めての大きな行事にもかかわらず、しっかり取り組み、「大阪大空襲」や「模擬爆弾」のことをわかりやすく立派に発表をしていました。2年生も手書きの紙芝居をうまく活用して、「長崎の声」を訴えてくれました。3年生はさすがに圧巻でした。「おきなわ 島の声」ヌチドゥタカラを見事に朗読してくれました。すべてを暗記して臨んだその本気さ、発表の姿勢。後輩たちに良き伝統を残してくれたことと思います。各学年の実行委員のみなさんが戦争のない世界や平和な世界に関心を持ってもらいたいと真剣に準備してくれたおかげです。そして実行委員長横山君の姿も印象的でした。きっと彼も自分たちの思いを伝えるために何度も何度も原稿を読み返し、暗記し自分のことばでアピールをしたいと思ってくれたのだと思います。改めて実行委員のみなさん本当にありがとうございました。

さて4月の入学式、6月の初めての全校集会でみなさんに校長先生には我孫子南中学校をこんな学校にしたいという夢がある。というお話をしました。覚えていますか？それは「止まり木のような学校」です。あび南にいればホッとできる、元気が出る、勇気をもって次の一歩を踏み出せる、そんな学校のことです。この1学期のみなさんの様子を見て、そんな学校に近づいていけると確信しています。それは各学年の目標にも現れています。

○1年生は「考動」。考えて動くということです。人の気持ちを考える。考えてから発言する。自分で考えて動くという周りの人を気遣う気持ちが持てるようにという目標です。

○2年生は「メリハリ・あいさつ・友情」～行くぞ!! 25期生 仲間との笑顔の輪を大切に～ メリハリをつけて行動し、相手の心に近づくあいさつを交わし、友情をはぐくんでいく。その結果として仲間が笑顔でつながっていく温かい学年を目標にしています。

○3年生はわかりやすいです。「日本一 ホットな学校」です。まさにそのまま温かい学校です。

このようにそれぞれの学年がそれぞれの目標に向かって進んでいけば「止まり木のような学校」はできていきます。どうかその気持ちを忘れず2学期がスタートできるように、有意義な夏休みにしてください。8月25日、元気なみなさんと会えることを楽しみにしています。頑張ってください。